

講義ユニット名	麻酔蘇生学		所属科目名	全身性疾患制御学
講義ユニット 責任者	つつみ やすお 堤 保夫	所属	麻酔蘇生学	
講義ユニット コーディネーター	みよし ひろつぐ 三好 寛二	所属	手術部	
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。			
概 要	周術期管理の基本である麻酔管理、および痛みの治療の基本について、それらの基礎的事項が概説できるようになることを目標とする。			
講義ユニットの 到達目標	周術期の主な電解質異常の原因疾患、症候、治療を概説できる。 動脈血ガス分析の結果を解釈し、異常への対応を概説できる。 基本的バイタルサイン（体温、呼吸、脈拍、血圧）の意義を説明できる。 主な術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。 周術期管理における事前のリスク評価を説明できる。 周術期における主な薬剤の服薬管理（継続、中止等）の必要性和それに伴うリスクの基本を説明できる。 周術期管理における輸液・輸血の基本を説明できる。 術後痛の管理を説明できる。 集中治療室の役割を概説できる。 麻酔の概念、種類と麻酔時の生体反応を説明できる。 麻酔管理を安全に行うための術前評価を概説できる。 筋弛緩薬の種類と使用上の原則を説明できる。 吸入麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症を概説できる。 静脈麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症を概説できる。 気管挿管を含む各種の気道確保法を概説できる。 周術期における呼吸管理を概説できる。 局所麻酔、末梢神経ブロック、神経叢ブロック、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔の適応、禁忌と合併症を概説できる。 安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法を概説できる。 悪性高熱症や神経筋疾患患者における麻酔管理上の注意点を概説できる。			
講義日程	別紙日程表を参照のこと			
出席の取り扱い	講義開始30分以内の出席システムでのカード認証、またはオンライン講義参加をもって出席とする。学生証を紛失または忘れた場合は学生支援室にある講義出席届出票を受け取り、必ず講義前に担当教員に提出する。 出席状況(回数)は自身で把握、確認すること。欠席回数の問い合わせには回答しない。 取り扱いは広島大学医学部医学科のグランドルールに従う。			
評価項目	到達目標の達成度 （基本的理解と知識の応用）			
評価法	MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は受験者の平均点の60%以上とする。			
予習・復習への アドバイス	予習：講義ユニットの到達目標に関連する指定教科書の該当ページを事前に読み、内容を把握しておく。 復習：講義で使用した資料を精読し、重要なポイントを整理・理解する。			
推奨参考書	【購入を推奨する参考書】 医学書院 標準麻酔科学 第6版 【その他、学習に有用な参考書等】 日本麻酔科学会 周術期管理チームテキスト			